

## 室戸海洋深層水で作られたジーンズ

『時の流れを感じる。 海から生まれたジーンズ』

### [ 開発背景と特徴 ]

ジーンズを加工する際には、必ず化学薬品を使用する。その中でも漂白加工（ブリーチ）を行うときは、次亜塩素酸ソーダと言う漂白剤を使用して、生産するジーンズ加工業界でのテーマとして、「天然の材料」を用いて生産（加工）される変化のある商品提案が待ち望まれていた。

商品の「糸」については、オーガニックコットンや希少品種の素材がPRされ「ナチュラル」「ロハス」にターゲットを絞られた商品戦略の展開があり、ファッショントレンドとしても重要となっている。

弊社においても「天然の材料」を用いて出来る、新たな商品開発、加工開発の期待と要望が非常に高まっていた。

開発申請許可を得て、多くの試験や試験機関との連携、実機などのテストを重ね、ようやく商品化できる結果が出来た。

今回の開発で、天然の海水「室戸海洋深層水」で作られたジーンズの開発成功により従来の商品とは異なった色相が確認でき、室戸海洋深層水特有の天然成分（ミネラル等）を多く含むことなど、再認識できる結果が得られた。

さらに、物性試験では、素材（コットン）の強さも低下しないなどの結果実際に計測することが出来た。

最近のファッションには「エコ」「オーガニック」などのキーワードが多く出されて、アパレルブランドが消費者に対して『天然→体にやさしい』イメージを伝えやすい環境になったことが、消費者が商品購買の後押しになると考える。

『室戸海洋深層水』を使用した加工方法の『オーガニック WASH』はジーンズ市場に対して、大きな期待、新たな提案、新しいマーケットとして繊維全般に関わる大きな流れのひとつになると確信している。



株式会社 四 川

特許 4723556号

## 『オーガニック WASH はなぜ室戸海洋深層水でなければならないのか！』

- ① 日本で最初の海洋深層水研究所が開設され、1989年より研究が始まり、他の深層水取水地よりも多くのバックデータを持ち市場に向けて商品開発におけるノウハウの蓄積があること。
- ② 『室戸海洋深層水』のネームバリューは大きく、一般の消費者の中でも認知度が高いこと。なかでも食料品、飲料水などの安全性が確保された商品群が多いこと。
- ③ 『室戸海洋深層水』は、『オーガニック WASH』加工での必要とされる成分を持ち、塩・カルシウム・マグネシウムのバランスが良いこと。
- ④ 『室戸海洋深層水』は四国（高知）で取水される。このことは、我々の業界では四国（徳島）阿波の国で、作られる天然『藍』は最高の色材として評価の高いことは一般の消費者でも知られているところでジーンズに非常に近い存在であり両者の組み合わせによる商品との商品戦略に大きなキーワードとなること。
- ⑤ 商品の生産における取水地との近さにも、非常に有効となっていること。